

令和2(2020)年度卓越大学院プログラム審査結果【採択】

卓越大学院プログラム委員会における審査の結果、貴大学から申請のありました下記プログラムが採択されました。

機関名	九州大学	番号	2036
プログラム名称	マス・フォア・イノベーション卓越大学院		
プログラム責任者	長田 博文	プログラムコーディネーター	佐伯 修

(採択後公表)

[採択理由]

本プログラムは、国際的に優れた数学研究力を基盤に、数学モデリングを通して組織や分野の垣根を越えて各分野で共創し、イノベーションを創出する卓越した数学博士人材である「マス・フォア・イノベーション プロフェッショナル (MFIプロフェッショナル)」を育成する教育プログラムである。また、産業数学分野、情報科学分野、経済工学分野等が一体となり、五つの数学力(数学力、統計力、モデリング力、共創力、創発力)を「マス・ファイブ・フォース (MFF)」と名付けて、そうした力を有するイノベティブな人材を育成する意欲的な内容となっている。とりわけ、産業数学分野において世界的に卓越した教員と研究基盤を結集し、さらに国内外トップレベルの研究拠点・企業も参画するなど教育研究体制も整備されている点は評価できる。

数学は、その汎用性と厳密性によってAI技術の限界を克服することが期待されており、特に社会的課題の解決にはモデリングのスキルが重要となっている。したがって、「MFIプロフェッショナル」の育成は、高度に専門化した人材の育成という観点から重要であると同時に、産業界、国際社会との連携においても非常に重要であり、そのような人材を育成するプログラムであることは高く評価できる。また、情報科学分野や経済工学分野のみならず、環境、公衆衛生、法学など他分野にも展開できる可能性を持っていると考えられる。

また、リバーズメンターやマルチメンター制度といった指導体制、よく整備された教育カリキュラムと教育の質保証の仕組み、優れたマネジメント体制などの創意工夫が見られ、共創力強化インターシップなど、優秀な学生をひきつけ、教育効果を上げるためのカリキュラムの工夫もよく考えられている。学内外資源の確保についても多様な方策が準備されており、補助期間終了後の継続性及び発展性も担保されている。

本プログラムは新たな分野横断型学位プログラムを全学展開するためのパイロットプログラムとして位置付けられており、学長を中心としたマネジメント体制が詳細に考えられている。高度な「知のプロフェッショナル」の育成として現実的かつ社会的にも非常に重要な提案となっており、着実な計画実施が望まれる。